

「和田・百草地域の文化財(遺跡)」めぐり

石塚 宇紀・諸富 文香
(多摩市教育委員会)

[大栗川かるがも館] ⇒ ①和田西遺跡 ⇒ ②和田・百草遺跡 ⇒
③稻荷塚古墳・白井塚古墳 ⇒ ④庚申塚古墳 ⇒ ⑤塚っ原古墳群 ⇒
⑥和田・百草遺跡(多摩第二小学校) ⇒ [大栗川かるがも館]

メモ



落川一の宮
二の宮
三の宮
四の宮

どうよう塚
へつびり坂

東寺方小学校
宝泉院
山の婆坂
第3放遊自
多摩市シルバ

中和田横穴墓群

大東寺
神

並木稲荷社
6

東寺方
549
545
577

電ヶ峰遺跡
グラウンド
土の原遺跡
北和田神社
野邊

塚原古墳群
5
山王神社

寺方大屋敷
東寺方老人福祉
東寺方地区市民ホ
東寺方図書館

和田中学校
234

申古墳
4
和田

落川北
山王
山王

稲成院
お屋敷
2

忍路稲荷社
3
忍路

落川
日廣申神社
15

和田西遺跡
1

忍路古池
1353

桜ヶ丘
10
12
13

和田三丁目
7

東寺方三丁目
1187

東寺方三丁目
1282

愛宕神社
5

愛宕一丁目
1033

愛宕二丁目
1185

愛宕三丁目
931

愛宕三丁目
983

岩船地蔵
1127
1145
1167
1163

愛宕四丁目
11

名田
745

念仏供養板碑
15

多摩ニュータウン通り
10

多摩第三小学校
759

富士ヶ丘幼稚園
622
1156

三本松
6

豊多摩一丁目
47

念仏供養板碑
62
66
68
72

多摩ニュータウン
18

豊多摩一丁目
45

念仏供養板碑
60
61
64
65

No.270遺跡
17

豊多摩一丁目
48

念仏供養板碑
60
61
64
65

No.57遺跡
14

豊多摩一丁目
48

念仏供養板碑
60
61
64
65

No.270遺跡
17

豊多摩一丁目
48

念仏供養板碑
60
61
64
65

No.57遺跡
14

豊多摩一丁目
48

念仏供養板碑
60
61
64
65

No.270遺跡
17

豊多摩一丁目
48

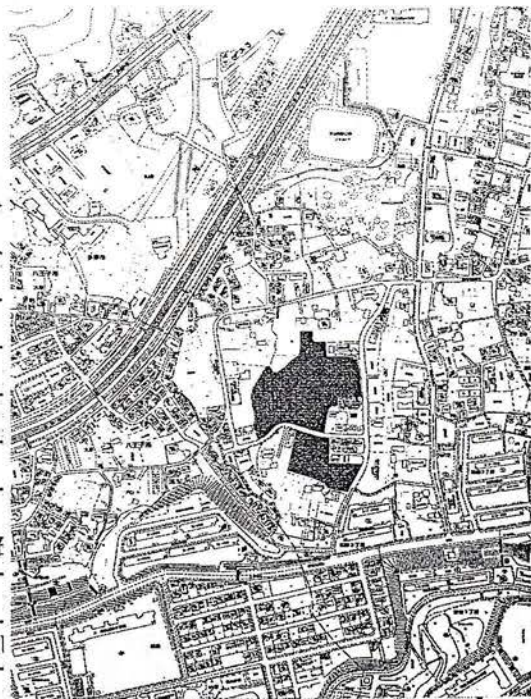
念仏供養板碑
60
61
64
65

No.57遺跡
14

豊多摩一丁目
48

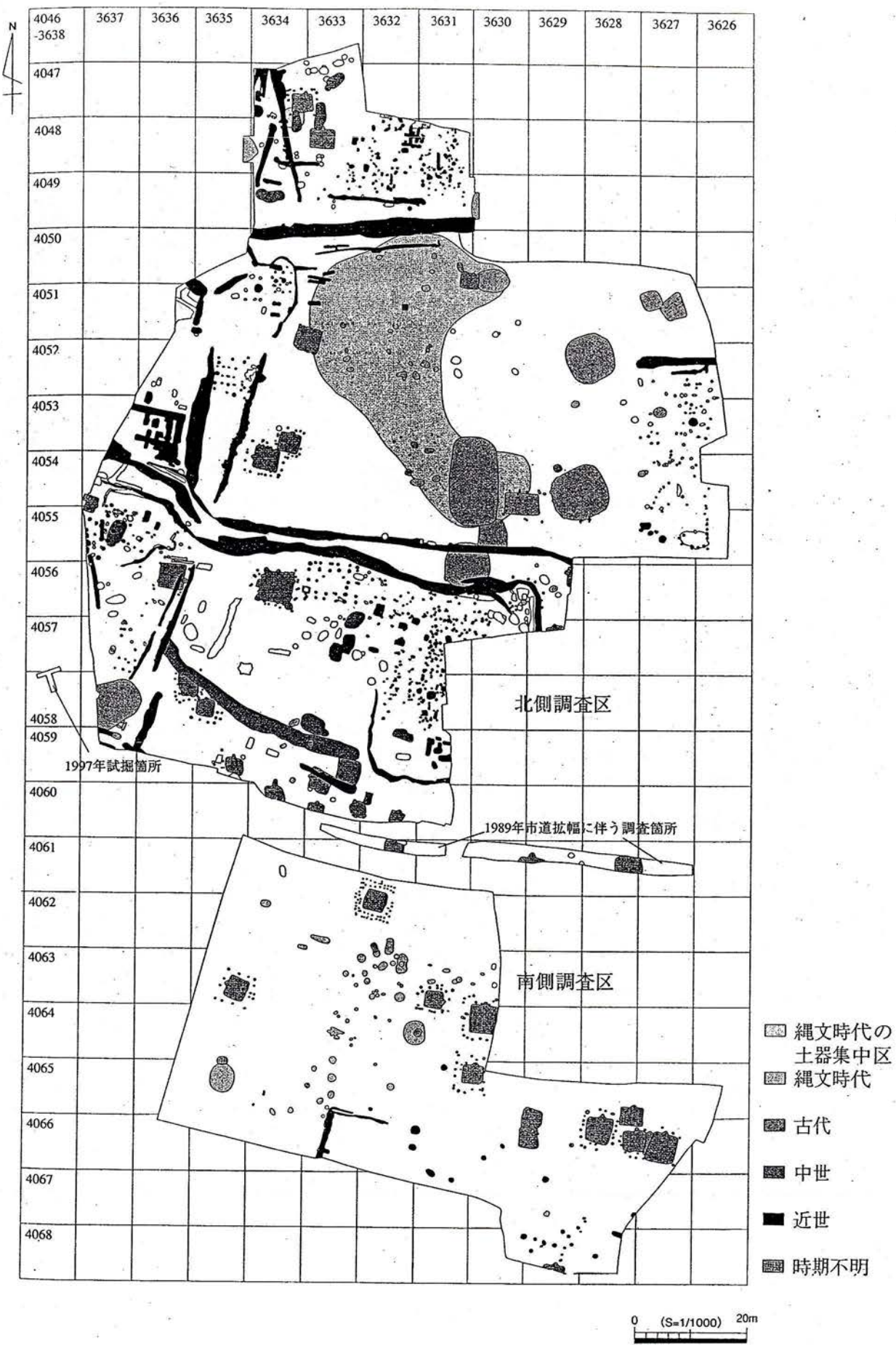
念仏供養板碑
60
61
64
65

報告書抄録

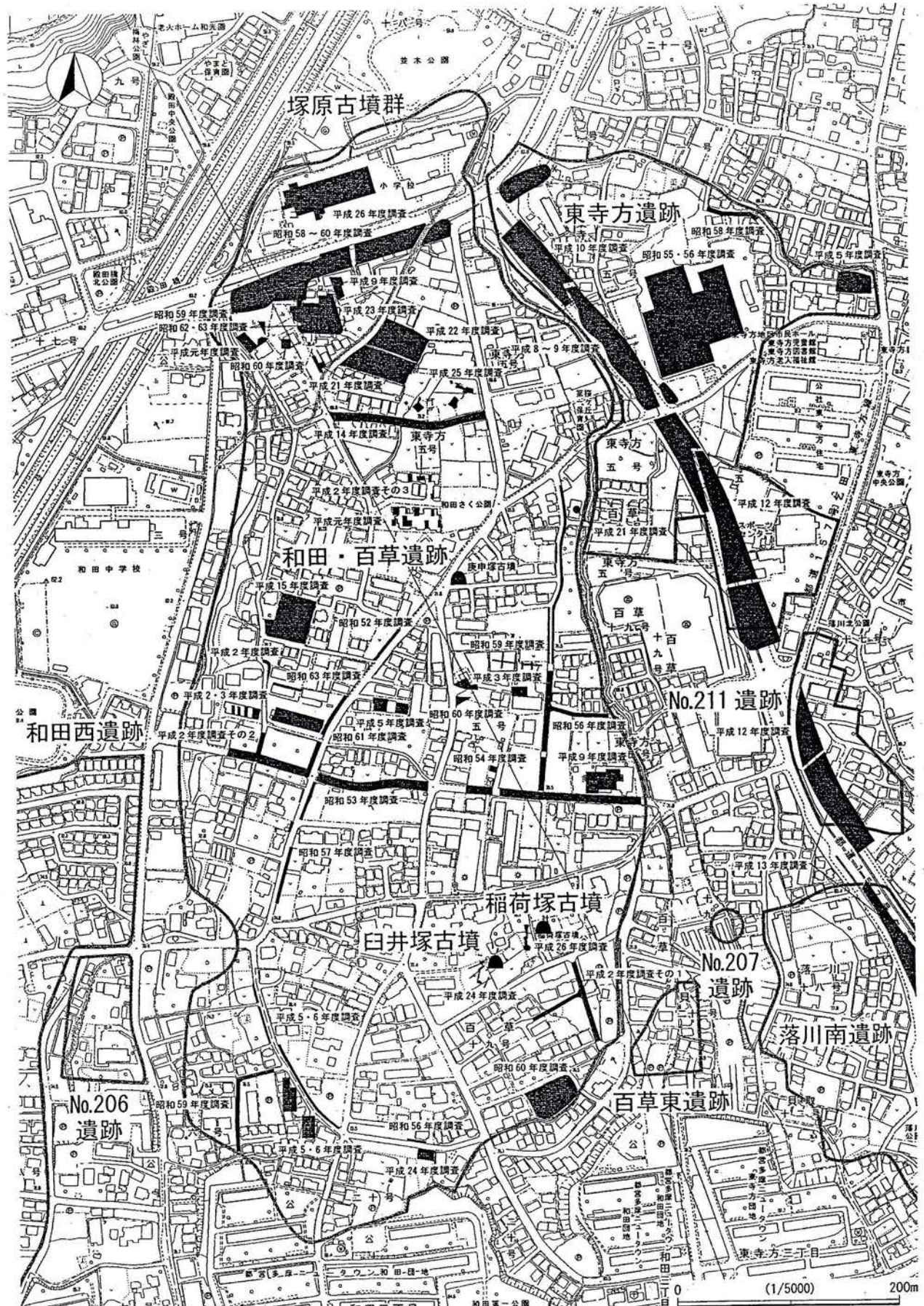


ふりがな	わだにしいせき
書名	和田西遺跡
副書名	上和田土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	多摩市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	46
編著者名	桐生直彦 谷口康浩 藤根 久 古橋美智子 米澤容一 三澤壮太 青木 敬 関根信夫 原 智之 荒井裕介
編集機関	株式会社 四門文化財研究室
所在地	〒186-0005 東京都国立市西2-19-2 第一村上ビル
発行年月日	2002年3月27日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
和田西遺跡	東京都多摩市 和田682番地他	13224	175	35度 37分 57秒 ～ 35度 38分 04秒	139度 25分 55秒 ～ 139度 25分 59秒	19960502 ～ 19980313	14.000	区画整理 に伴う緊急調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
和田西遺跡	集落跡	縄文	竪穴建物 18棟 集石 2基 陥し穴・土坑 79基 倒木痕 2基	縄文土器・石器		縄文前期の集落跡、大型 竪穴建物が時期的に連続 する。		
	集落跡	古墳	竪穴建物 1棟	土師器・須恵器				
	集落跡	古代	竪穴建物 33棟 掘立柱建物 1棟 土坑 10基	土師器・須恵器・土製 品・鉄製品・鉄滓・砥 石		竪穴建物内の棚状施設、 竪穴外柱穴、土壁、「村 落内寺院」などを発見。		
	集落跡	中世 ～ 近世	地下式横穴 7基 火葬土坑 1基 掘立柱建物 1棟 段切り 3箇所 井戸 3基 道路 1条 溝 34条 土坑 147基 ピット 733基	陶器・磁器・土器・ 五輪塔・石製品・ 古銭・鉄製品		中世～近世にかけての 農村		



第6図 和田西遺跡全測図



第4図 和田・百草遺跡と周辺の発掘調査位置図

2 和田・百草遺跡群（和田85・百草1120他）

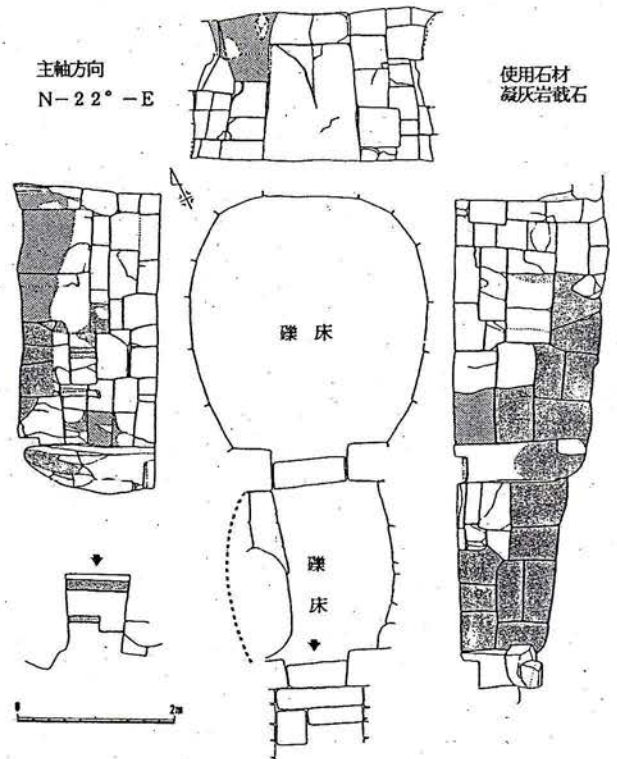
塚原古墳群・稲荷塚古墳等の古墳群を含む、大栗川右岸の台地上の遺跡である。この台地は多摩市では最も広大な平坦地であり、河川に近いこともあり、長期間にわたって生活の場、墓所等に利用されてきた。30回におよぶ発掘調査が行われた結果、旧石器・縄文・古墳・奈良・平安から中世にかけての集落跡や館跡等が発見されている。旧石器時代は約15,000年前の、尖頭器（ポイント）を作っていた製作跡が発見されている。縄文時代では、中央に広場を持ち、周囲に住居や墓が円形にめぐる中期集落や、後期の入り口部に墓を有する敷石住居等が発見されており、大栗川流域の拠点集落であったことが窺える。また、古墳時代前期（4世紀）の集落は、台地全体で100軒以上の住居跡が眠っていると予想され、この時代の大集落とし位置づけられる。

3 稲荷塚古墳

昭和33年、東京都史跡に指定。平成2年度の調査で、全国的にも数少ない八角形の古墳であることが判明しました。大きさは、墳丘の対角径（たけくひ）約34m、現存高約4m、周囲に幅1.5m～3m程の溝が回っています。7世紀前半に造られたと考えられ、東京都内の7世紀の古墳としては、最大級のものです。

死者を埋葬した石室は、石を非常にていねいに切って積み上げた横穴式のもので、前後2室に分かれ、共に壁がカーブしているのが特徴です。この地域の古代の市長的な人の墓と考えられます。

なお、石室の痛みがひどくなったため、保存のために平成10年に現地を埋めもどし整備しました。現在は、説明版を設置し、石室の形を白線で形取っています。現地見学可能。



第5図 稲荷塚古墳石室実測図 (1/60)

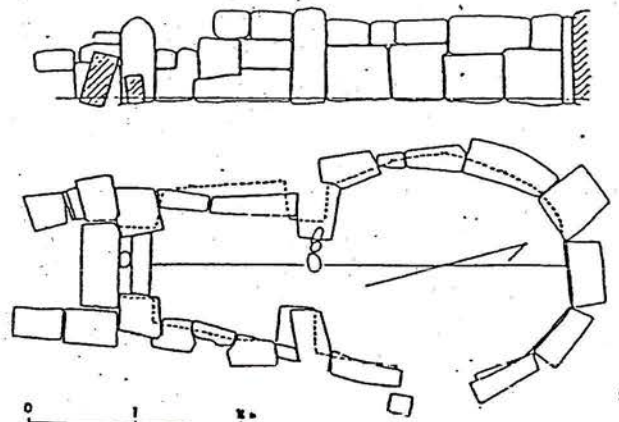
昭和45年乙益重隆氏測量原図から作成、スクリーントーンは修復部分を示す。

臼井塚古墳

稲荷塚古墳の西40mの所にあります。稲荷塚よりやや小規模ですが、石室の造り方は似ており、後室のみカーブしています。7世紀前半頃の古墳と思われます。現在は埋めもどされています。

4 庚申塚古墳

古墳上に庚申塔（にんしんとう）があるため、こう呼ばれています。径15m前後の円墳と推定されます。くわしい大きさ、出土品などは不明です。現地に解説標柱が設置してあります。現地見学可能。



第3図 臼井塚古墳の横穴式石室

塚原1号古墳

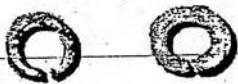
古墳群の中では最も残りが良く、推定約15m前後、現存高約2mの円墳です。個人宅地内に保存されており、未調査。

塚原2号古墳

墳丘径約19m、溝は1.5m～4m、深さ約30cm。周囲の溝から土師器(はじ)の甕(かめ)が出土しています。6世紀前半頃の古墳です。道路拡幅により発掘調査後、消滅。

塚原3号古墳

墳丘径約10mの円墳。周囲の溝は幅約1m、深さ約80cmで、東側は2重になっています。古墳に接する穴から完形の土師器壺(つぼ)や土師器杯(つば)が出土しています。6世紀前半頃の古墳で、現時点では、塚原古墳群では一番古い古墳と考えられています。消滅。



6号古墳出土金製耳飾

塚原7号古墳

大形の石がまとまって出土したもので、規模・形等は不明ですが古墳の一部と推定されます。消滅。

塚原8号古墳

鉄塔の下から、古墳周囲の溝が発掘されました。墳丘径約15mの円墳で、溝から6世紀後半の完形の土師器杯が出土しています。5号古墳とほぼ同時期の6世紀前半頃の古墳です。消滅。

塚原9号古墳

4号古墳の西側で、河原石組の石室が発掘されました。石室の造りなどから7世紀前半頃の古墳と考えられます。現在は埋めもどし現存。

塚原10号古墳

平成10年の調査で新たに発見された古墳です。古墳の周囲の溝の一部が確認され、他の古墳同様、径20m前後の円墳と推定されます。時期は明確ではありませんが、7世紀前後と推定されます。石室などは不明です。溝の一部は消滅しましたが、他の部分が地下に残っている可能性があります。

塚原4号古墳

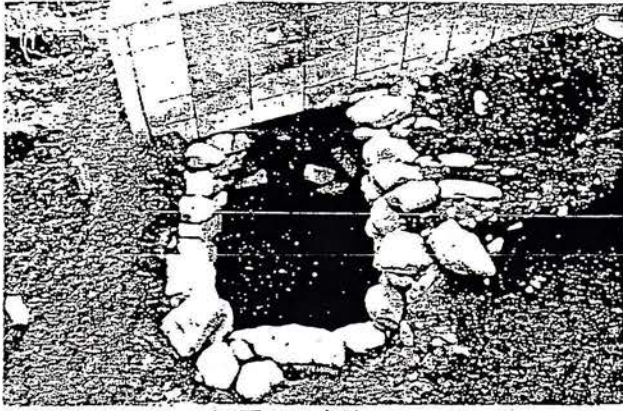
墳丘径約14mの円墳で、石室は地下に埋めもどされ現存しています。石室は河原石(からい)アーチ状に積み上げたもので、上から見ると、稲荷塚同様両壁はカーブしています。副葬品として、中から大刀(たち)・小刀(しょうとう)・鉄鏃(てつぞく)・青銅腕輪(せいどうせいうわ)・金製耳飾(きんせいみかざり)・石製飾玉(せきせいしやうぎょく)・勾玉(まがたま)など・ガラス製飾玉などが出土しています。7世紀前半頃の古墳です。埋めもどされ現存。

塚原5号古墳

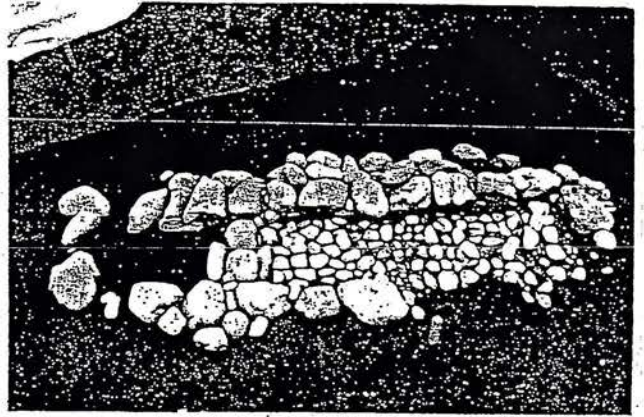
墳丘径約14mの円墳で、河原石組の石室が発見され、中から大刀、短刀(たんとう)、鉄鏃など多量の遺物(いぶつ)が発見されました。また、溝から完形にちかい須恵器(すゑき)や土師器が多量に出土しました。6世紀後半頃の古墳です。消滅。

塚原6号古墳

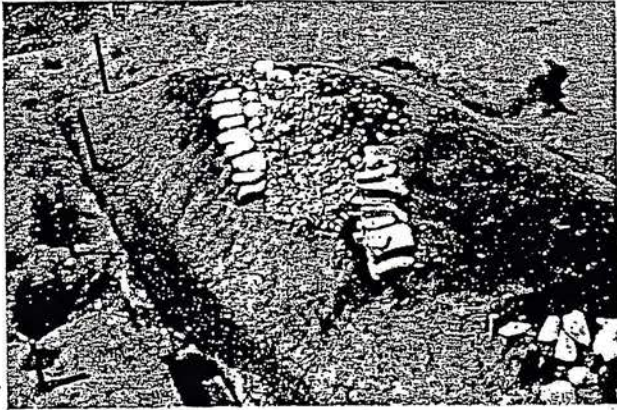
墳丘径約18mの円墳。河原石組の石室が発掘され、金製耳飾、大刀片、小刀などが発見されました。4号古墳とほぼ同時期の7世紀前半頃の古墳です。消滅。



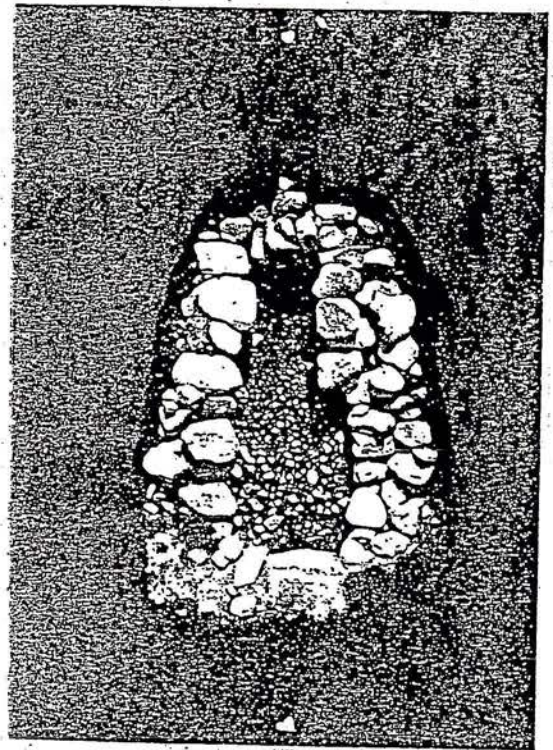
塚原4号古墳



塚原5号古墳



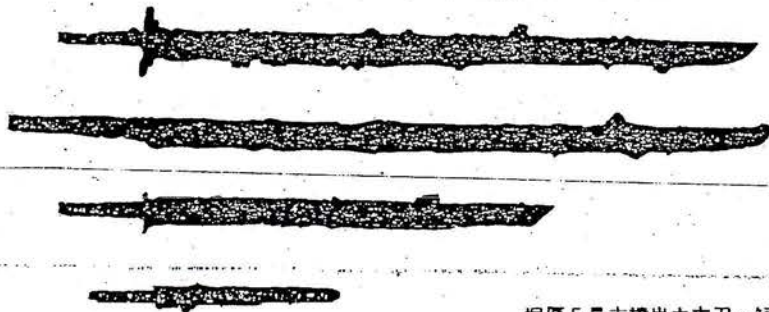
塚原6号古墳



塚原9号古墳石室



5号古墳遺物出土状態



塚原5号古墳出土大刀・短刀

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
わだ・もぐさいせき 和田・百草遺跡、 つかっぱらこふんぐん 塚原古墳群	たましわだななじゅうご 多摩市和田75	13224	多摩市 No.10、208	35° 38' 41"	139° 25' 57"	西暦2014年7月1日 ～ 西暦2014年9月26日	約1,716㎡	多摩第二小学校 校舎建替工事に 伴う埋蔵文化財 発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
わだ・もぐさいせき 和田・百草遺跡、 つかっぱらこふんぐん 塚原古墳群	集落	縄文時代	竪穴建物跡 6棟 陥穴 4基 土坑 2基 土坑墓 1基 集石 3基 ピット 30基 遺物包含層	縄文土器・土製品・ 石器・剥片・黒曜石	陥穴は早期。竪穴建物跡5棟は縄文時代 中期中葉(勝坂式期)、1棟は後期初頭(称 名寺式期)。土坑・土坑墓・集石が検出さ れ、本遺跡の中期集落の様相が明確と なった。早期から後期の縄文土器が出土 しており、この主体は新地平編年 8a 期～ 9a 期である。
		古墳時代	竪穴建物跡 2棟 溝 1条 土坑 3基 性格不明遺構 2基	土師器・土製品・ 石製品・金属製品	古墳時代前期の竪穴建物跡2棟と調査区 を横断する大溝を確認した。溝は集落の 区画溝であった可能性がある。古墳時代 後期土坑から金銅製耳環出土。
		奈良・平安時代	土坑 6基 ピット 37基	須恵器・瓦	土坑のうち5基は円形土坑。
		中世	溝 1条	獣骨	溝より馬歯出土。
		近世	土坑 5基 溝 1条 ピット 29基	陶磁器	

要約

本地点は和田・百草遺跡と塚原古墳群の所在する台地北側先端部に位置する。今回の調査では、大栗川に向かって北側に傾斜する舌状の地形から、縄文時代中期と古墳時代前期の集落跡をはじめとする縄文時代早期から近世までの遺構と遺物が確認された。

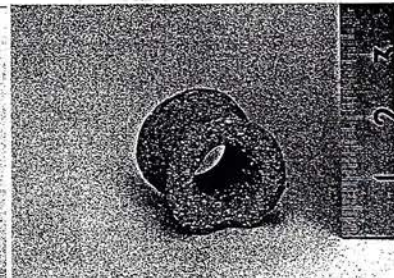
縄文時代早期では、陥穴が4基確認され、当地が狩猟の場であったことが改めて理解できた。縄文時代中期では、勝坂式期の竪穴建物跡5棟、土坑2基、集石3基、土坑墓1基が確認され、該期の集落が北側に展開することが明らかになった。これにより、既刊報告にて指摘されている墓域の広がりや中央広場の存在が明確となり、台地の縁辺部において集落は中央広場を囲んで弧状または環状に展開していたと推測される。勝坂式期の竪穴建物跡からは、新地平編年 8a～9a 期を主体とする縄文土器が出土しており、切り合う3棟の竪穴建物跡のうち一番新しい建物の J-SI14 では、縄文土器がまとまって廃棄されていた。また、勝坂式期の竪穴建物跡からは、縄文土器片とともに在地の石材を利用した打製石斧とそれに伴う多量の剥片、黒曜石片が上層から中層を中心に出土しており、周辺で石器製作が行われていたと推測できる。黒曜石の産地は、神津島産が大半を占め長野県産が補充するという、南関東の勝坂式期の産地傾向に準じる結果であった。このうち伊豆柏峠産が数点確認されており、当該期の事例は少ないが今後の課題となる資料である。炭化種実同定では、縄文時代中期の竪穴建物跡と土坑からオニグルミとクリ、キハダ、カラスザンショウ、ヒユ? が土器内部の埋土などから検出された。縄文後期初頭称名寺式期の竪穴建物跡 1 棟からは、埋土中に多量の焼土が検出され竪穴床と台石の被熱などから、火を利用した作業などが行われた可能性が想定される。

古墳時代前期では、竪穴建物跡2棟と台地縁辺部を東西方向に縦断する大溝(H-SD1)が1条検出された。この台地縁辺部を巡る溝は、集落の区画溝として利用された可能性が高い。古墳時代後期では、土坑(H-SK11)から金銅製耳環が出土し、溝状を呈する性格不明遺構が検出された。本地点の調査区南側は著しく掘削を受けており、塚原古墳群に伴う古墳の周溝等は検出されなかったが、周辺に古墳が築造されていたことが想定できる結果となった。古代では円形土坑5基などが点在して確認され、中世では斜面地北東側を縦断する溝(H-SD2)に馬歯が埋設されており、溝における動物祭祀の様子を確認できた。近世ではピット群が調査区南西側より確認され、農地に伴う土地利用が推測される。

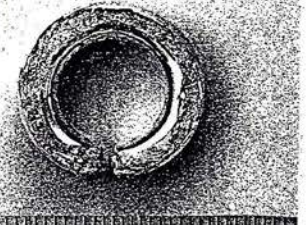
以上のように本地点では、和田・百草遺跡の最北部における様相を理解することができた。



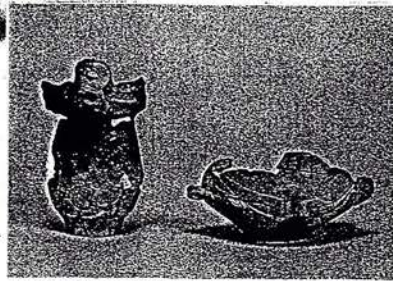
1. J-SI14 出土遺物
(左より J-SI14 No.5, 9, 1, 54, 7, 6, 4, 3, 2)



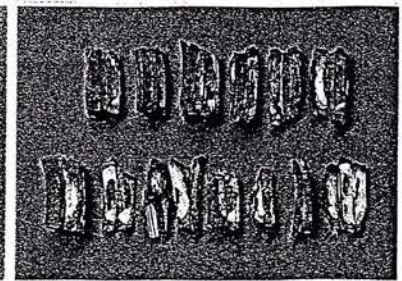
4. J-SK4 出土土製耳飾



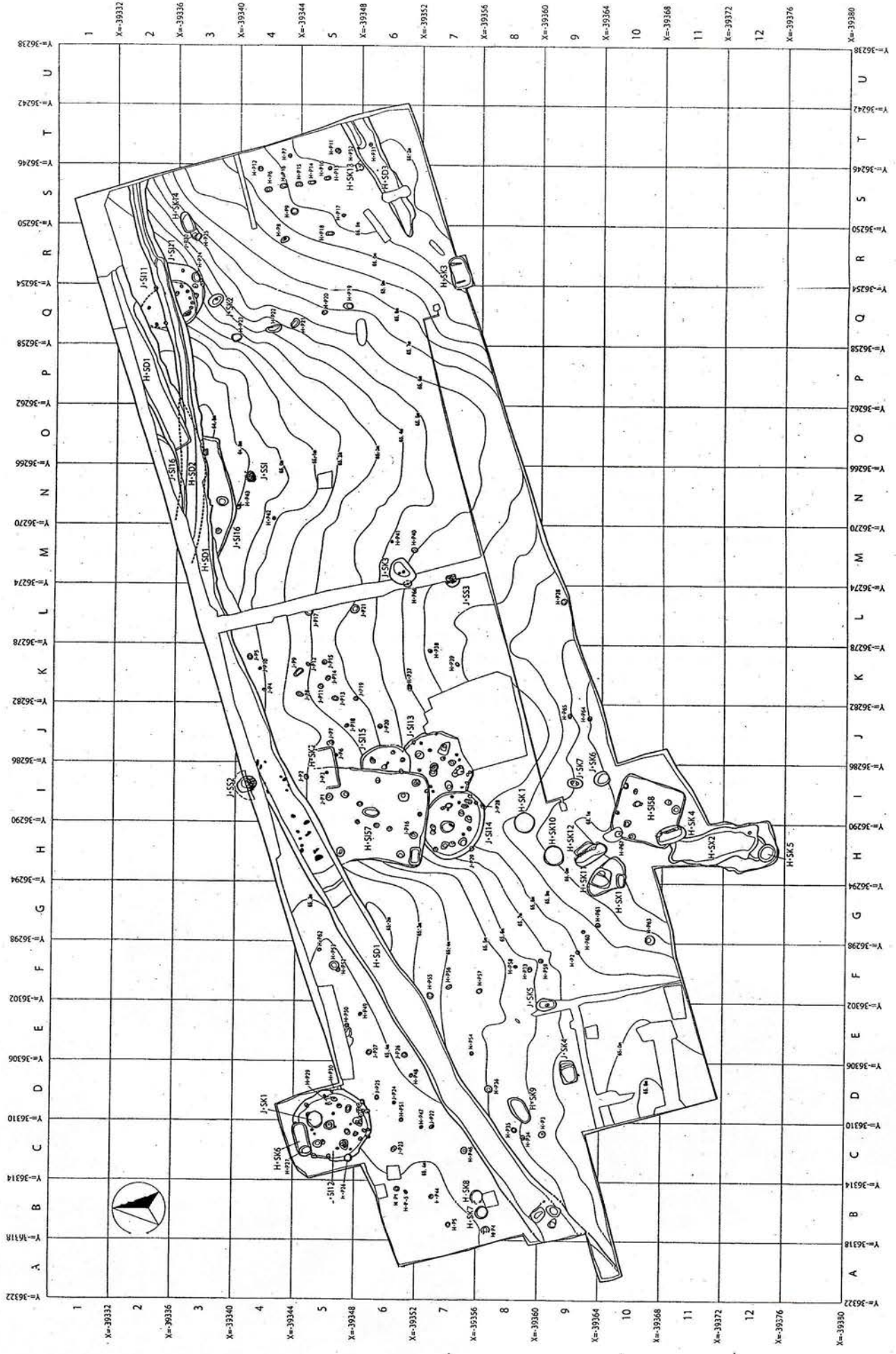
5. H-SK11 出土金銅製耳環



7. J-SI11 出土遺物



8. H-SD2 出土馬歯



第7圖 調查區全林圖